

療養通所介護まごころ  
2021年運営推進会議 記録

1. 日 時 2021年2月22日(月) 13:30-14:30

2. 出席者

氏名	構成区分	職名等
三木 秀信	地元住民代表	元御旅自治会会長(家主さま)
中條 あゆみ	知見を有する者	特別養護老人ホームのじぎくの里施設長 療養通所介護まごころ 安全サービス提供管理委員会委員
入本 様	知見を有する者	高砂市 市民部 保険年金室 介護保険課 介護給付係
高田 標子	利用者家族	
坪田 典子	管理者	療養通所介護まごころ管理者・看護師

3. 今回、コロナ増大にてメンバーの方と話し合い資料配布。  
意見等に関しては後日連絡となる

4. 会場 (株)まごころケア研究センター高砂2階会議室

5. 議事 (1) あいさつ(坪田)

- ①介護保険法に年1回の開催を定められている運営推進会議を予定しましたところ、ご多忙にもかかわらずご出席いただきまして御礼を申し上げます。
- ②今年度はコロナウィルスの増大にて資料配付にての開催になり申しわけありません。意見や助言がありましたらご連絡にて対応させていただきます。

(2) 療養通所介護の制度・概要・利用状況等(坪田)

- ①療養通所介護は、難病やガン末期等の重症度の高い、医療と介護の両方のニーズを持つ方を対象にしている。
- ②既存のデイサービスを利用できない個別の看護・医療的ケアが必要な方を対象にしている。
- ③そうした観点から訪問看護ステーションと一体的な運営を行っている。
- ④全国でも療養通所介護は、最大90ヶ所程度しかなく、障害者(児)も対応している事業所は8ヶ所程度しかない。特に0歳時~介護保険対象者の方。近隣の地域でも閉鎖した事業所も出ている。
- ⑤既存のデイサービスとの違いは、利用者の自宅から自宅までが、サービス提供時間となっている。
- ⑥地域密着型通所介護の類型に属しており、高砂市以外の利用者については、別途手続きが必要。
- ⑦介護保険の利用者には、限度額があり、また法の改正にて月包括

に変更になり利用希望どおり、利用が難しい時もある。

(3) 利用状況報告～介護保険対象（坪田）

- ①7月時点で3名の利用となっている
- ②いずれも重度の障害を持っておられ、吸入・吸引・注入・酸素等のケアを行っている。
- ③また、意思の疎通方法も文字盤利用や首の振るなどの方法となっている。

④障害者（児）の利用者について（いずれも重度心身障害）

- ㊦児童発達支援 4名
- ㊧放課後デイサービス 7名
- ㊨生活介護 6名

\*年齢の関係で今年度から生活介護の利用者が増加し、収入面で減収の影響を受けている。

⑤課題

- ㊦スタッフが長続きしない（スキルアップできずに辞めてしまうのでスタッフ不足に対応して利用者数を調整して事故防止に努めている）
- ㊧家族からは、地域や近隣からの福祉・介護の情報が入手しにくいとの声が多く、ケアマネとの連携強化が必要。
- ㊨報酬単価が高いため、自己負担が高くなる場合がある。
- ㊩介護保険の利用者が、当日に急に休みになると代替の利用者を見つけにくく、穴が空いてしまう場合が多い。
- ㊪障害者（児）のサービスも含めて災害時の対応に多くの課題を抱えている。今後、市町も含めた連携が必要。
- ㊫老々介護も増加してきており、重症度が増すと自宅での介護をあきらめ、サ高住や施設入所になることも多い。
- ㊬療養通所介護自体の認知度が低い

⑥外部委員からの意見

- ㊦重度の利用者が多く、人材の確保や安全面で大変気を遣うことが伺われる。
- ㊧呼吸器を初めとする医療機器などの進歩も著しく、その面での対応も難しいと推察される。

(4) サービス提供現場見学

5. 閉会

記録 療養通所介護まごころ 管理者（坪田）